

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）
（令和4年度実績）実施結果報告

資料2

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）活用事業一覧

区分	事業名	実績額 (千円)	充当額 (千円)
H29年度補正 (H30～R元年度 実施)	①お茶の近未来技術研究開発・実証拠点施設整備プロジェクト	744,813	372,406
R元年度補正 (R2～3年度 実施)	②スマート農業等推進モデル地区プロジェクト	538,806	269,403
計（2事業）		1,283,619	641,809

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ)(平成30年度～令和3年度事業)実施結果報告

No	交付対象事業名	事業概要	担当課名	本事業における重要業績評価指標(KPI)	基準値		H30年度 増加分	R元年度 増加分	R2年度 増加分	R3年度 増加分	R4年度増加分	R5年度 増加分	R6年度 増加分	累計	事業実施課による評価	事業評価	外部有識者からの評価
1	お茶の近未来技術研究開発・実証拠点施設整備プロジェクト	品種、量ともに日本一の茶産地を目指し、良質茶低コスト生産や、輸出を含めた多様なニーズに対応できる茶生産技術の確立に資する新技術の開発等に取り組むため、低コスト・高精度の研究開発や自動走行、AIなど近未来技術の実証に向けた拠点を整備する。	【農政部】 経営技術課	KPI① 茶の輸出による販売増加額(千円)	220,000	目標値	0	100,000	100,000	200,000	200,000			600,000	R2.8月に施設整備を完了し、新技術開発等試験研究に取り組んでいる。有機栽培茶園面積の増加は小さかったが、輸出による販売額の増加や先進的な技術開発件数は目標値を大きく上回る実績であった。今後も、当施設を活用し、省力・低コストな高品質茶生産技術の開発や、有機栽培茶や抹茶の生産技術の開発等、先進的な技術開発を進め、確立した技術の普及を図っていく。		
				実績値	0	118,000	120,000	305,000	377,000			920,000					
				KPI② 茶の高付加価値化につながる有機栽培茶園面積の増加(ha)	415	目標値	0	50	50	100	100		300				
				実績値	0	135	17	12	13			177					
				KPI③ 当該施設による低コスト・高品質、高付加価値化につながる先進的な技術開発件数(件)	1	目標値	0	0	2	2	3		7				
				実績値	0	3	6	2	4			15					
2	スマート農業等推進モデル地区プロジェクト	ロボット技術やAI、IoTなどの技術を活用した次世代スマート農業の研究・開発の拠点となる農業機械施設やスマート農業実証試験ほ場を整備する。	【農政部】 経営技術課	KPI① 当該施設によるスマート化・省力化・低コスト化・規模拡大につながる先進的な技術開発件数(件)	2	目標値			0	2	3	5	5	15	新型コロナウイルスの影響により一部繰越で実施していた施設整備は令和4年3月に完了し、本県に適したスマート農業技術の開発等試験研究に取り組んでいる。先進的な技術開発件数は目標に届かなかったが、スマート農業技術導入件数等は順調である。今後も、当施設を活用し、先進的なスマート農業の技術開発を進め、確立した利用技術の普及を図っていく。		
				実績値			0	1	1			2					
				KPI② スマート農業技術導入件数(件)	143	目標値			0	70	90	120	160	440			
				実績値			0	280	153			433					
				KPI③ 大規模耕種農家のうちスマート農業機器を導入した農家数(戸)	30	目標値			0	15	15	25	35	90			
				実績値			0	26	22			48					